

卒論集の発行に当って

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-08-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 竹内, 正辰 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00006055

卒論集の発行に当って

本号は例年にならって卒論集である。約1ケ年にわたって、野外にそして室内に、研究を続けた努力の産物だけに、貴重な出版物といたい。各人が卒論テーマをきめて仕事にかかりはじめたときから今日までには、あらゆる努力をしたことと思う。物事をこれ程真剣に考えたことは今までになかったであろう。文章にしても、他人に了解してもらおうとするのに、これ程まで苦しんだこともなかったであろう。そしてまとめ上げた内容が必ずしも苦勞に値する程大きなものではないことを知った人もあろう。こうした体験はおそらく各人がはじめて経験したことだけに、貴重な思い出として一生身に深くきざみこまれるにちがいが無い。それにもまして、「研究の方法」の第一歩を各人が経験したにちがいないと、私どもはいたい。この「方法」は、研究問題の種類やその大小には関係なく、今後の社会生活の上に、大變役に立つことで、自信のある仕事をする基礎になるものといいたい。

大学のなかには卒論を設けていないところもあるようだし、卒論にかわる何物かを行っているところもあるように耳にしている。「しずはた」のように卒論を公表するところは殆どないようである。卒論の取扱いはこのように各大学で様々ではあるが、私は上の主旨から絶対に必要と信じている。本号のように公表することになると、学生諸君にはずいぶん重荷になるだろうし私どもも莫大な責任を感じてくる。けれどもそれ以上にすべての方面に効果があることを信じている。

こうしたことから、日頃の「地学研究グループ」の活動を活発にし、他方読者各位の御指導と御後援とによって、「しずはた」を育成し、この会誌の内容を一層充実してゆかなければならないと感ずるものである。

(竹内正辰)